

ラフテレーン、オールテレーンクレーンの作業現場での伸縮作業の作業条件について

弊社製、ラフテレーンクレーン、オールテレーンクレーン(フルパワーブーム仕様)の作業現場におけるブーム伸縮作業について、下記の通りご案内いたします。

(ピンロック式車両又はそのピンロック機構を併用している部分については対象外とします)

荷を吊ってのブーム伸縮作業は、禁止事項ではありませんが推奨する作業ではないことをご理解ください。

なお、伸縮作業を行う場合は、作業姿勢によって吊り上げ可能な荷重が大幅に制限されます。

主ブームが水平に近い角度での作業では、ブームとブームを固定するスライド板との摩擦係数が大きくなるため、伸縮作業中に吊り上げ可能な荷重は小さくなります。

また、ブームのメンテナンス状況(グリスアップの状態)によって、伸縮作業の状況に大きな影響が生じる場合があります。

※注意事項

1.ブームのメンテナンスについて

本作業を計画する場合は、事前に必ずブームのメンテナンス(グリスアップ給脂)を実施してください。

2.伸縮シリンダの特性について

伸縮シリンダの特性上、ブームを伸ばす作業に比べて、ブームを縮める作業は計画通りに実施できない場合があります。

3.吊荷の目安について

伸縮作業が可能な吊り上げ荷重は作業条件によって異なりますが、定格総荷重の約 1/3 以下を目安として計画してください。ただし、前述の条件が十分に満たされていない場合には、作業が実施できないことがありますのでご注意ください。

4.ブーム長さ計の補正について

伸縮作業によりブーム長さ計の表示に誤差が発生する場合があります。

数センチ程度の誤差であれば、ブームを最縮小状態まで縮め、そのまま約 10 秒間、縮め側にレバーを保持することで自動調整されます。それ以上の誤差がある場合は、非常伸縮スイッチを使用してブームを全伸長し、その後最縮小状態まで縮めることで、長さの再調整が行われます。

5.作業後の点検について

伸縮作業はクレーン車の寿命に大きく影響する作業です。作業終了後は、車両の点検に加え、伸縮ワイヤーロープおよび油圧ホースの点検、交換の要否確認を実施してください。

作業内容について確認が必要な点は、弊社各支店、営業所へ問合せをお願いします。